

## 平成 30 年度水産審議会 栽培・養殖・流通部会の概要

開催日：平成 31 年 3 月 13 日（水）13:30～15:15

出席者数：出席委員 8 名（委員数 10 名）

### 1 協議事項

#### （1）平成 30 年度種苗生産結果及び平成 31 年度種苗生産等計画（案）について

県栽培漁業センターが生産・中間育成する水産動物種苗について、平成 30 年度種苗生産結果の報告及び平成 31 年度種苗生産等計画（案）について事務局より説明。

・平成 31 年度種苗生産等計画について、当初予算規模を考慮して設定。種苗販売単価は、クロメバル(50mm)の県内放流用を新設する。

以上のとおり事務局より説明があり、原案のとおり了承された。

#### （2）平成 31 年度魚類養殖にかかる対応策（案）について

平成 30 年度の養殖関係実態調査の結果等から検討した平成 31 年度の魚類養殖に係る対応策について事務局より説明があり、原案のとおり了承された。

#### （3）平成 30 年度藻類養殖事業結果及び平成 31 年度藻類養殖事業計画（案）について

平成 30 年度藻類養殖事業結果及び平成 31 年度藻類養殖事業計画（案）について事務局より説明があり、原案のとおり了承された。

### 2 報告事項

#### （1）香川県水産業基本計画の進捗管理について

平成 28 年 3 月に策定された「香川県水産業基本計画」の展開方向のうち「1.消費者ニーズに即した養殖水産物の安定生産」、「2.売れる地魚の持続的供給」、「3.水産物の販売強化と流通の多様化」、「4.水産物の消費拡大と理解の促進」について、平成 30 年度の主な取組みと成果、次年度以降の取組みと課題について報告があった。

### 3 その他

気候にあったクロノリ養殖の方法についての検討、アオノリ養殖にかかる漁業権の設定および生産量、地魚の資源量や消費拡大方法等の意見が委員より出された。

## 平成 30 年度水産審議会 漁港漁場整備部会の概要

開催日：平成 31 年 3 月 12 日（火）10:00～11:40

出席委員：6 名（委員数 7 名）

### 1 報告事項

#### （1）香川県水産業基本計画の進行管理について

漁港漁場整備部会に関する基本計画の指標としては、藻場造成面積、漁港における機能保全計画策定漁港数、漁港海岸保全施設の整備延長の 3 項目がある。平成 30 年度は基本計画期間の 3 年目であるが、藻場造成面積の指標については予算が確保できず、目標に対して進捗がやや遅れている。今後、漁港・漁場・海岸事業の進捗が適切に図られるよう、補助金や交付金の確保に努める旨、報告された。

#### （2）平成 30 年度漁港整備事業の実施状況について

国の交付金事業、補助事業及び県単独補助事業を合わせ約 11 億円の事業費により、漁港の機能保全、機能強化、海岸の地震・津波対策が実施されたことが報告された。

#### （3）平成 30 年度漁場整備事業の実施状況について

増殖場工事として塩飽地区の佐柳工区での実施状況、調査事業として粟島地区及び詫間地区でのモニタリング調査、播磨灘東讃地区の事前調査の結果について報告された。特にモニタリング調査では、人工構造物に多くの有用魚類が集まっていること、餌料生物となるワレカラ、ヨコエビ等の節足動物が多く出現していることが報告された。

### 2 協議事項

#### （1）平成 31 年度漁港整備事業の計画（案）について

事業費約 11 億 7 千万円による、漁港の機能保全事業、特定漁港整備事業、港整備交付金事業による防波堤や物揚場の整備、また、漁港海岸の地震・津波対策事業による胸壁・陸こ<sup>きょうへき</sup>りつう整備等が計画されており、機能保全事業の工事については、2 漁港が継続実施であることや 5 市 2 町の 43 漁港において海岸堤防等老朽化対策事業に取り組む計画案が事務局から提示され、限られた予算を有効に使うよう意見を付して、了承された。

#### （2）平成 31 年度漁場整備事業の計画（案）について

増殖場造成事業は、継続事業である塩飽地区の佐柳工区に加え、新規事業として播磨灘東讃地区の津田工区において実施予定であること、調査事業については、詫間地区の 1 箇所増殖場整備後のモニタリング調査に取り組む計画案が事務局から提示され、了承された。

## 平成 30 年度水産審議会 担い手対策部会の概要

開催日：平成 31 年 3 月 8 日（火）10:00～11:30

出席委員：6 名（委員数 7 名）

### 1 報告事項

平成 30 年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施結果について

#### (1) 事業実施状況

漁業の担い手を確保、育成するため、漁業者を対象とした研修会の開催や香川県漁業士の活動支援、多度津高校の生徒を対象とした地域漁業体験学習会を実施した。

#### (2) 香川県漁業就業者確保育成センター相談状況

香川県漁業就業者確保育成センターにおいて、平成 30 年 1 月 15 日から平成 31 年 2 月 15 日までに 29 件の就業相談を受け、8 名が就業、2 名が就業内定した。しかし、今年度の就業者のうち現在までに体力的な理由により 1 名が離職した。

#### (3) 香川県水産業基本計画の進行管理

香川県水産業基本計画の進行管理のうち、担い手関係について事務局から報告された。

### 2 協議事項

#### (1) 平成 31 年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施計画について

事務局から次のとおり説明があった。

平成 30 年度に引続き、漁業者を対象とした研修会の開催や、高校生を対象とした漁業体験研修等の実施、食育推進等に取り組む香川県漁業士の活動支援、新たな香川県漁業士の育成を促進する。また、香川県漁業就業者確保育成センターによる漁業就業情報の収集、提供を行い漁業の担い手の確保・育成に努める。さらに、「かがわ漁業塾」事業や新規就業者漁船漁具リース支援事業、新規漁業就業者生活安定給付金事業、新規漁業就業者総合支援事業を実施し、新規就業者の独立支援および漁業就業者の確保・育成を図る。また香川県水産業振興総合対策事業の一部である、漁協等における水産教室や男女共同参画活動に対する助成も引続き行う。

以上について、原案のとおり了承された。

### 3 審査事項 香川県漁業士の認定について

知事から香川県水産審議会へ諮問があった「漁業士認定候補者の選考審査」について、指導漁業士候補者 3 名の適格性を審査し、全員適当であると決定された。

この結果を審議会に報告する。